

まちびと

MACHIBITO

夏

特集

創業の夢 叶うまち

町田で輝く人に出会うコミュニティマガジン

2020 SUMMER TAKE FREE

2020年 夏号

発行日 2020年8月15日

発行 町田市市民部市民協働推進課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 町田市役所2階
TEL 042-724-4362

編集部 株式会社タウンニュース社
〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西2-1-3
TEL 045-913-1220

表紙撮影 中原 一隆

04

特集 創業の夢 叶うまち

「創業応援団 町田BIZ広がれ！」
「わたしたち、町田で創業しました」

08

まちだ人
秋元 陽太選手
FC町田ゼルビア



10

- つながローカル!
- File.01 町田市町内会・自治会連合会
 - File.02 まちだ地域国際交流協会
 - File.03 NPO法人プラナス
 - File.04 つるかわ無料塾 結い

14

まちださんぽ
小野路

16

てくてく昭和 黄色のひさしくぐって少年時代へ / おもちゃの三景

17

沢野ひとしの町田絵日記 第1回 町田に住んで50年

18

マチ活information

19

まちびとプレゼント

＝ ご挨拶 ＝

「まちびと」は今号から誌面リニューアルをいたしました。これからも町田で輝く人を伝え、多くの出会いを生む「まちびと」でいたいと思っています。市民の皆様のご支援を糧とし、魅力ある誌面へ成長していけるよう、編集部一同、努力をしております。



この冊子は40,000部発行し、1部あたりの単価は74円です
(職員の人件費を含む)

コロナ禍での体調不良も
私たちにおまかせを!



足道楽のオーダーメイド中敷は、一人ひとりの足の形に合わせて「無加重作成システム」で作成

足の専門店だから自信があります!

膝痛、腰痛、肩凝りで

悩んでいませんか?

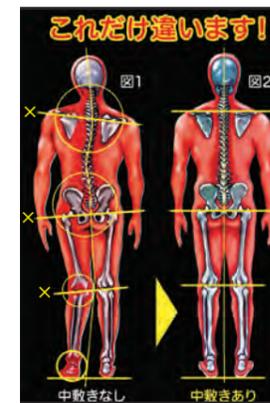
膝・腰などの痛みは足首から改善する

「足や体の
相談ができる」

足病医学に基づく資格を持つ足のトレーナーが対応

オーダーメイド中敷(インソール)の作成実績16年連続世界1位の店であるプライドと誇り。足道楽は、その人に合わせて作成する靴の中敷と足の癖に対応した靴を提案する「足の専門店」だ。スタッフはアメリカ足病医学に基づいた「骨格マイスター」などの資格を持つ「足の専門家」がそろう、足そのものはもちろん、様々な体の不調に向き合い続けている。日本人の多くが抱える腰痛、変形性膝関節症などの悩み、こうした症状のほとんどは体の土台となる「足首の関節の歪み」が一因だという。

これまで足道楽が長く愛されてきた理由が他店にはない強みがあること。この店唯一の骨格を矯正して足型を作るタイプの中敷により、足首を正しい位置に戻し、筋力強化もできるのだ。



オーダーメイドで作る



本来の足の形に合わせて中敷を作成する「無加重作成システム」(当日のお渡し可)は足道楽のオリジナル。右の図1のように中敷がない場合、足首が内側に倒れ込んで歪んでいる。これが原因で体のバランスが崩れ、体の負担がかかる部分に痛みが生じる。足道楽の中敷は、足首の歪みを正しい位置に戻すことができる唯一無二のものだ。

東京、神奈川をはじめ、21店舗展開。
お客様からのご相談やサポートの総合窓口として、フリーダイヤルを常設しております。
お急ぎのご用などがありましたら
☎0120・419214(よいくつーよ)
までお気軽にご連絡ください。

町田本店

足道楽 町田市森野1-38-5 赤司ビル1F
小田急線「町田駅」北口出口から徒歩2分
営)10:00~19:00
当面的間は無休

足道楽®
オーダーメイド中敷と靴の専門店
☎042-711-6882

あしどうらく 検索

みなさまの生活の一助に...
健康補助券
1,000円オフ
クーポン

※有効期間:2020.10.30まで
※靴・中敷ご購入の際にお使いいただけます。
他のサービスとの併用不可。



町田BIZ広がれ!

町田商工会議所

経済トレンド反映 創業スクール

同商議所主催の「まちだ創業スクール」は経済トレンドを反映した講座で毎年人気だ。昨年は「ネット活用」「リアル店舗」の2科目で実施。同職員は「受講者には仲間意識も生まれ、創業へ応援しあうつながりができている」。地元に戻り創業する町田出身者の相談も多く「郷土愛を肌で感じる」という。



原町田3-3-22 ☎042-724-6614

今年「本格創業」副業をテーマに9月開講

町田新産業創造センター

子ども起業塾 未来へ種まき

地元インキュベーション拠点として創業相談や貸オフィス事業をはじめ、小学生が創業を疑似体験する起業塾、地元企業の経営課題について起業家が解決策を競うビジネスコンテストも展開する。同センターの伊藤亨専務は「町田は新しいものが受け入れられやすく創業・起業に魅力的なまちなんです」。



中町1-4-2 ☎042-850-8525

市と商議所らが出資創業拠点として設立

COMMUNE BASE マチノフ

成長支援でまちづくり

木材に囲まれた内観が印象的な民間シェアオフィス。「個人や小さな組織が自立し楽しく活躍する街をつくりたい」と2017年に創設され、多くの起業家やフリーランス、クリエイターの活動拠点になっている。会員の商品やサービスを紹介する展示場を設け、ビジネスマッチングの機能も果たしている。



中町3-10-6 ☎042-860-6491

全ての人が主役 チャンスを掴む場所に



BUSO AGORAで保志代表取締役

キープ・ウィルダイニング 保志真人代表取締役

BUSO AGORA 原町田6-9-8 AETA町田4階 ☎042-851-7856

中二階にあるロフト風のスペース、革張りのカウチソファ、配管むきだし風のスケルトン天井。どこを切り取っても絵になる空間「BUSO AGORA」は、原町田に昨夏オープンした coworking & シェアオフィスだ。カフェのような心地よいBGMが流れ、ランチボックスやドリンクメニューも充実。「オフィス」でありながら夜はアルコールの持ち込みも可能というから驚きだが、それは単なる場所貸しではなく、ビジネスの可能性を広げうるコミュニケーションを活発化させる場にしたという狙いからだ。さらに、インキュベーションオフィスの機能も併せ持ち、起業に精通したスタッフが在籍。起業を志す人へアドバイスを送るほか、利用者同士が互いの事業を紹介したり、夢を語り合うイベントも開催している。

志と夢をつなげる

同オフィスを運営するのは、町田市内を中心に幅広く飲食店を展開している株式会社キープ・ウィルダイニング。起業支援という畑違いとも言える分野に乗り出した背景にあるのは、代表取締役の保志真人さん自身の体験だった。「創業に向けて動き出した時、十分な資金や保証人がなかった私は、どこへ相談に行ってもかけられるのは『無理だ』『甘いよ』と否定的な言葉ばかり。一向に前に進めませんでした」 幸運にも両親の支えがあり、創業に向けて踏み出した保志さん。だが、「志があっても、知識や人脈がなければ夢をあきらめざるを得ない現実」があることは、ずっと脳裏に焼き付いていた。そんな苦い記憶こそ、起業の夢を抱く同志を支援する原動力だ。「町田には『自分らしく生きたい』と願う人が集う。そんな街にしたい」



特集

創業の夢 叶うまち

町田市の開業率^{*}は6・4%（2014年〜16年）と近隣都市と比べ高水準で推移している。古くからの商業集積地であり、交通利便性が高く、子育て世代の転入が増えているといった商圏の魅力もさることながら、開業率を底上げしている理由には、官民の垣根を超えた町田特有の創業支援の動きがある。

町田市は、「チャレンジするならTOKYOの町田から!」と題した「町田市産業振興計画19―28」を策定し、『立ち上げるチャレンジ』を施策の柱の一つとして、起業・創業を後押しする様々な取り組みを行っている。13年には、民間との共同出資でインキュベーション施設「町田新産業創造センター」を設立。会社登録免許税の50%減免や創業資金の利子全額補助などを含む「町田創業プロジェクト」を展開し、町田商工会議所や新産業創造センターらと連携して創業支援を進めている。また、地元実業家が「シェアオフィス」を運営するなど、民間でも創業者を育てる輪が広がっている。夢の叶うまちへ。その動きを追った。

^{*}期間当初の事業所数に対し、新規開業した年平均の事業所数が占める割合



「女性ならではの視点を仕事に生かしたい」と福本さん



オフィスにはインテリアの洋書がずらり

株式会社ディセノ
町田市能ヶ谷4-40-1
☎042-708-8874
<https://diseno-inte.com>

建築に生かす女性目線

実家の家業は建設会社。事務所は自宅と兼用で、幼少の頃から電話では会社名を名乗るよう教えられ、庭の作業場にはいつも大工が入り出している。株式会社ディセノ代表取締役の福本圭子さん(45)は、そんな環境で生まれ育った。

自身も当然のように建設業を志すようになり、大学では建築学部へ入学。卒業後は建築金物メーカーなどで経験を積んだ後、忙しかった家業を手伝っていた。しかし出産後、育児ノイローゼに…。これが人生を見つめる契機となり、独立を決意した。

「自分にできることは何だろう」。建築士の資格を有し、工事現場での実績も十分。だが、独立となると進むべき方向性に迷いもあった。

そこで出会ったのが、町田新産業創造センター。「私が社会でどう役立てるのか。創業に向けてさまざまなビジョンを示して頂き、自分の棚卸しができたんです」。行きついた答えは、女性ならではの視点。「水廻りの収納や家事動線など同性だから理解できることがある」。女性が少ない業界で、そんなきめ細かい対応が好評だ。



作業服に着替え、現場にも出る



セミナーで経営を学び、開業の夢を叶えた小川さん



洗練された内装デザイン

ペットケアターフ
町田市小山町1032
☎042-860-1020
午前10時～午後6時
(休火曜・第3月曜(祝日の場合振替))
<https://www.pet-care-turf.com>

町田街道に面した住宅街に建つ小山町の「ペットケアターフ」。そのおしゃれなインテリアは人間の美容室と見まがうほどだが、ここは犬専用のトリミングサロンだ。
オーナーの小川瞳さん(30)は大阪のトリマー専門学校を卒業後、「やるからには、技術レベルが高い東京で腕を試したい」と上京。麻布や八王子のトリミングサロンで6年間経験を積み、今年4月に念願の独立開業を果たした。
自分の店をもつことは学生時代からの夢。自宅にも近い好条件の店舗物件は早々に見つけることができたものの、いざ創業

同志と学んだ経営のいろは

となると何から手をつければよいのか分からなかったという。
思い悩んだ末、「まずは経営について勉強しよう」と、ネットで知った町田新産業創造センターが主催するセミナーに参加。2カ月にわたり、財務分析や原価計算、キャンペーンの組み立て方など経営のいろはを学んだ小川さんは、「同じ志をもつ受講生たちとの交流も心強かった」と振り返る。
開業から数カ月。常連客も徐々に増えるなど、滑り出しは上々だ。



店の看板犬「ターフちゃん」

わたしたち、町田



自ら工具を持って改造したという電動カート

「町田市は創業支援を受けた恩義があり、可能性がある面白いまち」と話し、まちづくりが楽しみながら提案するスタイルが好評だ。

国内初 電動カートで送迎

町田新産業創造センター内にオフィスを構え、昨年は、町田商工会議所主催の「創業スクール」にパネリストとして登壇した。「起業は分らないことだらけで、先輩の経営者によく相談した。苦難を乗り越えた話は貴重。次は自分がお役に立ちたい」と話している。



鶴川団地を前に西利さんとカート

株式会社ZipSystem
<http://www.zipsystem.co.jp>
株式会社モビリティワークス
<http://www.mobilityworks.co.jp>
☎050-3557-7734
町田市中町1-4-2町田新産業創造センター



西利也さん

で創業しました

「うちの商品は、派手さを追わず安くもない。おまけに店の場所もわかりづらい」。原町田の洋菓子店「パティスリー アンカド」を営むオーナーの山根悠樹さん(38)は苦笑いを浮かべる。

15歳から洋菓子を学び、大手ホテルなどでパティシエとして勤務。国内最大の洋菓子コンクールで銀賞を受賞するなど腕を磨き、30歳を過ぎてから独立を意識し始めた。紹介された幾つかの菓子店で修行する中で、閉店に立ち合うこともあった。「美味しく値段が安くても事業は失敗。経営の厳しさを体感した」と回想する。

職人の腕だけでは商売は成り立たないと考え、町田商工会議所の創業スクールに飛び込んだ。「実践的にビジネスを学び、商品だけではなく経営もオリジナリティが大事だと実感した」と振り返る。

打ち出した独自性は「大人の店」。商品は安く仕上げるのではなく、大人の味覚を納得させる上質な素材にこだわった。「場所や価格はお客様の障壁になりかねないと感じましたが、そこを越えて来店して下さったお客様には感謝しかない。出逢ったことがない感動を与えたい」と情熱を注ぐ。



幸せと感動を贈る創作菓子

「大人の洋菓子店」で勝負



ショーケースの横で来店者を迎える山根さん

pâtisserie un cadeau
パティスリー アンカド
町田市原町田3-6-12
☎042-851-7217
午前11時～午後8時
(休火曜)
<https://uncadeau.info>



2階にはカフェを併設(中学生未満は利用不可)

原動力は故郷への感謝



まちだ人 FC町田ゼルビア / GK

秋元陽太

今季から、期限付き移籍でJ2FC町田ゼルビアに加入。町田で生まれ育った生粋の地元っ子で、野津田でのホームゲームには友人たちも応援に駆け付けるという。プロ選手として経験豊富な守護神が、悲願のJ1昇格に大きな力となるはずだ。

GK一筋に四半世紀

町田が生んだ守護神が、ひと回りもふた回りも大きく成長して地元に戻ってきた。今季、湘南ベルマーレからFC町田ゼルビアに期限付き移籍で加入したゴールキーパー（GK）の秋元陽太選手だ。

出身は玉川学園。幼稚園の年長だった頃、兄・陸さんの友人に誘われてボールを蹴り始めた。南大谷小学校に入学すると、地元少年サッカーチームのCYDフットボールクラブに所属。当初は攻撃役のフォワードが主なポジションだったが、2年生の時、早くもその後のサッカー人生を左右する岐路を迎える。

フィールドプレイヤーとして出場したその試合は前後半で決着がつかず、勝負はGKにとって最大の見せ場であるPK戦へ。そこで、「誰かキーパーやりたいやつはいるか？」と監督に問われて真っ先に手を挙げたのが秋元少年だった。結果は勝利。ただ好奇心からチャレンジしただけのはずが、一躍脚光を浴びる快感に酔いしれ、以来、四半世紀にわたってGK一筋に歩み続ける。

● ● ●
 中学から横浜F・マリノスの下部組織へ進むと、その比類なき才能を開花。サッカーの日韓ワールドカップが開催された2002年

から5年連続で世代別の日本代表に選出され、世界をまたにかけて実力に磨きをかけてきた。05年には高校生年代のクラブユース日本一を決める選手権大会で準優勝。

数々の華々しい実績をひたさげ、いよいよプロとしての第一歩を踏み出した。だが、そこは一流選手が集う国内最高峰リーグ。大怪我の影響、



ひとたびピッチを離れば、柔和な笑顔を見せる。2人の女の子のパパでもある



憧れだった「聖地」でプレーする



町田で過ごした少年時代

秋元 陽太 Yuta Akimoto

1987年7月11日生まれ（33歳）。町田市玉川学園出身。南大谷小、南大谷中、野津田高校に通い、横浜F・マリノスでプロとしてのキャリアをスタートさせる。これまでに愛媛FC、湘南ベルマーレ、FC東京に所属し、Jリーグ通算で304試合に出場（19年シーズン終了時）。

ピッチではチームメイトを鼓舞する鬼のような形相が印象的だが、ひとたび故郷の話題になれば途端に人懐っこい笑顔を浮かべる。今も祖父や多くの友人が住む町田。プロになって地元を離れてからも、試合で東京に遠征する時は必ず立ち寄っていた愛着ある街だ。そんな町田を本拠地とするゼルビアから誘いを受けたのは、昨オフのこと。下位カテゴリーのJ2に所属するクラブへの移籍には戸惑いもあったが、「サッカー選手としての今後を考えた時、故郷でプレーできるチャンスはなかなかない」と決意を固めた。

野津田高校時代に級友らと談笑して歩いた懐かしの坂道を通り抜ければ、いよいよ姿を現す本拠地の町田市陸上競技場（町田GIONスタジアム）。そこは地元のサッカー少年にとって、決勝戦に勝ち進んだ者こそがピッチに立つことを許された「聖地」だった。

度（J1昇格（14・17年）に貢献。J1では通算100試合以上に出場し、ルヴァンカップ優勝（18年）も果たすなど失いかけた輝きを取り戻した。

「高校の頃は『ラーメンおやじ』が好きで、週一で通ってました」

「聖地」で戦う喜び

が好きな、週一で通ってました」

に戦う覚悟だ。



左から町田市町内会・自治会連合会 中一登会長代行・安達廣美会長・横川弘子さん



リニューアルしたホームページ



「地域のつながり」について語る安達会長

町田市町内会・自治会連合会



地域のつながりも「新しい日常」へ

新型コロナウイルスの影響により、これまでの「日常」が大きく変わった。目には見えない敵とともに生活する「With コロナ時代」を迎え、情報の共有方法や防災の在り方など、町内会・自治会も新しい生活様式への対応が求められている。

市内にある町内会・自治会の役割は、街路灯やゴミ捨て場の管理をはじめ、防犯、交通対策、子どもや高齢者の見守り事業など多岐にわたる。そのどれもが地域社会や生活に欠かせないもの。各地域から寄せられる情報を取りまとめ、行政や民間団体とのパイプ役となりながら、課題解決のサポートをするのが「町田市町内会・自治会連合会(略称・市連/安達廣美会長)」だ。

市連は昨年、ホームページを大幅にリニューアル。若い世代にも地域に関心を寄せてもらえるよう、地域のイベント情報掲載の充実や、デザインもスタイリッシュにした。コロナ禍では感染拡大防止の観点から、閲覧板を回せないという事態が起こり、非接触で情報周知ができるホームページの有用性が増した。市連の安達廣美会長は「改めてホームページを含めウェブ媒体の重要性を考え

させられる機会になった。各地域における暮らしに必要な多くの情報を、今後は迅速に掲載していきたい」と先を見据える。

また、人との間隔を2m以上空けるソーシャルディスタンスが提唱され、いつ起こりうるか分からない災害においても、今後は3密を避ける形となる。避難所の収容人数も削減が避けられず、町内会・自治会は、避難所運営や防災備蓄などについて見直すことになる。すでに非接触型の体温計や消毒液などの感染予防品を導入する動きもあるという。

コロナ問題だけでなく、町内会・自治会加入率の減少や、高齢化する役員の後継者不足など、市連における課題は少なくない。安達会長は「社会を取り巻く環境が大きく変わっていても、町内会・自治会はいつでも地域活動の中心であり、市民の暮らしの中で大きな使命を任されている。様々な活動を通じて、自助・共助・「近所」の大切さを根気よく市民に伝え、生活に密着する一つひとつの課題解決に着実に取り組んでいく」と話している。

■加入に関する問い合わせ
042-722-4262
<https://machida-shiren.com>

まちだ地域国際交流協会 (MIFA)

町田で結ぶ国際交流の架け橋



まちだ地域国際交流協会(黄川田南会長)が、1993年から開催している日本語教室。「地域貢献のため、日本語さえ話せれば活動できる」「海外で外国人に親切にしてもらった恩返しをしたい」。そんな思いをもつボランティア会員のもと、町田市民フォーラムの一室で草の根の国際交流が育まれている。

外国人に接する活動とはいえ、外国語のスキルは不要。ボランティア登録を希望する人は事前に養成講座を受講し、専門講師から日本語学習の支援方法を学ぶ。登録者数は130人。仕事をリタイアした、あるいは子育てがひと段落したタイミングで地域のために時間を使おうと活動を始める人が大半だ。

一方の「学習者」は150人。インド人の51人を筆頭に、中国人、ベトナム人と続き、実に20カ国もの外国人が登録している。その年齢層は20〜30代が中心で、多くの支援者にとっては我が子より若い年代。支援にあたる松崎園夫さんは、「日本語を教える代わりにスマホの使い方を習うこともある」と嬉しそうに話すなど、国境を越えた世代間交流も活動の醍醐味のひとつという。

黄川田さんの楽しみは、支援者と学習者がフリーテーマで会話する時間。実践的な日本語を学ぶことが目的だが、そこで聞く異文化の話題に知的好奇心がくすぐられる。IT業界出身の根っからの理系で、「韓国の床下暖房の話は興味深かった。旅行ガイドブックに載っていない庶民の暮らしの様子など、多くの知識を吸収できる」。教えながら学べる――。そんな魅力がある活動だ。

一方、外国人も教室に通う目的は日本語を学ぶだけではないようだ。学習者には若いママも多く、97年から活動する早田紀子さんは、ママ友との付き合い方や、小学校で配布されたプリントについて聞かれることがあるという。子育ては不安や悩みがつきものだが、「異国の地となればなおさら。生活に関する相談には、主婦の経験が生かせる」。こうした背景から、同会では子連れで参加できる親子教室も開催している。

スピーチ大会や遠足など課外活動も盛ん。定員オーバーで「待機学習者」がでるほど人気の教室が、外国人にも住みやすい地域づくりに一役買っている。

■入会に関する問い合わせ
<http://mifa-machida.info>



課外活動のひとつ「書道体験」



学習成果を発表するスピーチ大会



習得度に応じたマンツーマンの支援



左から松崎さん、黄川田会長、早田さん



シルクメロン農園からメロンを搬入する利用者



下小山田町の農園内にある事業所

事業所で過ごす職員と利用者

メロンの箱詰め作業

土産物として人気のキャンディー

NPO法人プラナス

シルクメロン名産化の担い手に



まちだシルクメロンの出荷や加工の担い手となり、名産品化に一役買っているのが、NPO法人プラナス(佐藤いづみ理事長)の利用者だ。知的障がいのある人が地元産業を盛り上げる形で、社会参画を果たしている。

★ 「まちだシルク農園」で生産されたメロンは、プラナスの運営する生活介護事業所「プラナスクリエイティブセンター」(下小山田町)に運ばれる。出荷するメロンは利用者が箱詰めし、一部の見た目が悪く出荷できないものは、果汁からピューレやゼリーに加工する。「まちだシルクメロンキャンディー」は、町田市内名産品にも認定された看板商品だ。

プラナスは2012年、障がい児と保護者の集まりがきっかけとなり、放課後等デイサービス事業所を開設。卒業後の就労機会を創出する展開も見据え、当時から菓子の製造にも取り組んでいた。メロンとの関わりは、産業界連携で国内初の水耕栽培を始めた商工会議所の持ち掛けで、カットメロンをイベント販売するところからスタート。限られた時間で働ける場を探していた利用者の保護者も農園で受粉や収穫を手伝うなど、連携を深めている。

キャンディーは13年に商品化。相原の加工場でたっぷりの果汁を含むピューレを作り、製法は昔ながらの地釜炊き製法をとる宮城県企業と提携、メロン本来の味に極限まで近づけた。パッケージもお洒落さにこだわりの、一見して福祉施設の製品と分らない。市内の観光案内所やイベントなどで、年間2千袋を販売する人気ぶりだ。プラナスの佐藤理事長は「福祉だから買ってもらおうというのではなく、広く欲しいと思われ商品にしたかった」と話す。

「日本一しゅゆ」を製造する岡直三郎商店(本社・旭町)と協力し、しゅゆキャンディーを開発するなど商品の多角化にも意欲的だ。プラナスの高井大輔事務局長は「障がい個人差があり、できることが限られることもある。福祉施設が商品開発や販路開拓に取り組むのは難しいが、就労して工賃を得られる機会を広げていきたい」と語る。

佐藤理事長は「福祉施設は地域の理解があつてこそ、町田市の特産品にも関わることができ、地域との関わりは利用者の大きなやりがいになっている」と目を細めて話していた。

■NPO法人プラナス ☎04276120276 小山町4319の2

つるかわ無料塾 結い

学習支援で結ぶ地域の絆

水曜日の夕方。能ヶ谷いこい会館に、ひとり、またひとりと中学生が集まり始めた。ここは、地域のボランティアが週一で開催している無料塾「結い」(福田有美子塾長。午後6時の開始時刻を迎えると、生徒たちは水を得た魚のように各自持参した課題に取り組み始める。その表情に「やらされている」感じはなし。イキイキと楽しむ姿が印象的だ。

★ 三輪緑山在住の福田塾長は、40代後半で玉川大学教育学部通信教育課程に入学。中学校教員を志して意欲的に勉学に励んでいたが、心の奥底では「年齢的に現場で教壇に立つのは難しいかもしれない」という不安も抱くようになっていた。

「無料塾」を知ったのは、ちょうどそんな頃。2014年に子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行されて以降、市民が子どもに食事の機会や学びの場を支援する機運が全国的に高まっていたのだ。「これなら、自分もお手伝いできるかも」。早速、八王子で無料塾を行うNPO法人から開講のノウハウを学んだ。

『塾に行きたいけど、経済的にちょっと厳しいなあ...』というとき、ぜひきてみてね!。地域にポスティブ

なングした自作のチラシ。デザインしたカヌーの写真には、「一人で漕ぐと大変でも、2人、3人で漕げば楽になる。困っていることは皆でシェアしよう」という意を込めた。難病により、9歳から中学卒業まで院内学級でも学んだ福田さんの長男。無料塾の開講は、当時助けてもらった地域への恩返しの意味もあった。

18年1月、福田さんと生徒3人でスタートした「結い」。理念に共感したご近所仲間の横山雅代さん、田中の子さんもスタッフに加わり、休憩時間におにぎりとおみそ汁も提供するなど活動の幅を広げた。

また、ボランティアサポーターも50人以上が登録。教育学部の学生や福祉関係の社会人、80代の高齢者など年齢も肩書きもさまざま。なかには同塾を卒業した高校生もいる。「地域のひとと一緒に生きていくと実感できる場。ここで受けた恩を、また別の人に送る。そんな形ができた嬉しい!」

一人ひとりにあった学びをみつけ、多様な生き方を伝える。それが、塾として大切にしていることだ。

■ボランティアサポーター登録の問い合わせ ☎0800-41998-2619



子ども達を支えたい一心でサポートするスタッフ。前列右から2人目が福田塾長



授業中の態度は真剣そのもの。スタッフへ積極的に質問する姿も



マンツーマンで丁寧にサポート

A 小野路宿里山交流館

スタート&ゴール地点となる「小野路宿里山交流館」は、江戸時代に宿場として賑わったこの地域の一軒の旅籠(旧角屋)を改修し、2013年にオープンした観光施設。自然を楽しむ里山散策の「休憩所」や「うどん作りイベント」など、多くの方が訪れているほか、「結婚式場」としても利用されている。

■開館時間 9:00~17:00
 ▲町田市小野路町888-1
 ☎042-860-4835
 ⑨向かいのタイムズ(30分無料) トイレ有



B 小野神社

小野神社の創建は、菅原道真の先輩にあたる漢学者で、学問の神様ともいわれた小野篁の七代後の子孫・小野孝泰が、平安時代の天禄3年(972年)ごろ武蔵の国司として赴任し、この地に篁の霊を祀ったことに由来する。平安時代を代表する書家の小野道風は篁の孫。

▲町田市小野路町885



コースガイド
 約5km・1時間30分コース

- 1 小野路宿里山交流館からスタート
- 2 小野神社で参拝
- 3 町田市農業研修農園横を通り、右のゆるやかな坂へ
- 4 六地藏を抜けて道なりへ
- 5 鋭角に左折すると、畑が現れ、小野路の里山風景が広がる《ビュースポット(★)》
- 6 牛舎を通過
- 7 突き当りを左折、雑木林を道なりに進む
- 8 三叉路を直進
- 9 図師小野路歴史環境保全地域の説明板がある二股を右へ行き送電鉄塔を通過

- 10 二股を左へ行くと下り坂となり、竹林を楽しめる
- 11 ベンチを通過、奈良ばい谷戸の一角に
- 12 畦道を右折して対岸の道へと進む
- 13 みどりのゆびの道標がある三叉路を左折し、道なりに進む
- 14 バス通りに出て、道を渡り、二股を右折
- 15 鋭角に左折し進むと、関屋の切り通し・布田道を通る
- 16 みどりのゆびの管理緑地の看板まできたらバス通りへと引き返し、小島資料館に進み、交流館へ戻ってくる

小野路宿里山交流館では小野路産の地粉を100%使用したうどんを提供。天ぷらや煮物などの日替わり小鉢も楽しめます☆



C 関屋の切り通し

調布の布田宿と小野路をつなぐ布田道の切通し。かつては鎌倉街道の関所があったとされる場所。また関屋城砦もあったと言われ、城の空壕跡や鎌倉古道の跡も残されている。幕末には新選組が通り、小島道場へと出稽古に訪れた道であり、沖田総司が病にかかった際に、馬の背に乗りこの道で江戸へ向かったとされている。



まちださんぽ の 小野路

「フットパス」は、森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くことをいいます。普段の生活ではなかなか見られない町田の別の顔もお楽しみください。

監修:NPO法人みどりのゆび

小野路は鎌倉と府中(武蔵国の国府があった)を結ぶ鎌倉街道の古い道筋にあたり、さらには江戸時代の初めには徳川家康の御霊を駿府から日光東照宮に移す際の千人もの大行列が通過するために新たな道が整備され、後には相模大山詣での道となつて幕末前後まで宿場として機能しました。府中に行く人々は日没になると、「こ」で泊まったところで旅籠も幕末には6件あったそうです。家康の御霊を運ぶ大行列が小野路宿の前の向坂にさしかかった時には、櫃(御霊を乗せた入れ物)を乗せた車の車軸が折れてしまい、小野路の人たちが鍛冶屋を呼んで修理したという話が伝わっています。

【小野路を歩く心得】

小野路の素晴らしい里山景観は、農家の方々の営みや、地域の方々の長年にわたる保全活動によって支えられています。散策される方は以下のことに留意してマナーを守り、感謝の気持ちを忘れずに小野路を楽しんでください。

- ルート以外は入らない。道があっても民有地の場合があります。
- 樹林地、耕作地、敷地内などに踏み込まないようにしましょう。

D 小島資料館

名主・小島家が開いていた剣術道場で、新選組の近藤勇や土方歳三、沖田総司らが出稽古に訪れていた場所。小島家の私設資料館には、新選組関連から町田市近辺の歴史資料まで約7,000点もの東京都有形文化財が保管されている。

■開館 第1、第3日曜13:00~17:00
 ▲町田市小野路950
 ☎042-736-8777
 コロナ感染拡大の影響により現在休館中
<http://www.kojishir.com>



黄色のひさしくぐって少年時代へ

おもちゃの三景



1970年のオープン当初からほぼ変わらぬ店内。電子ゲームやプラモデルの塗料など、懐かしい商品も並ぶ

鶴川団地セントラル商店街の一角にある「おもちゃの三景」。第二次ベビーブームが始まる直前の1970年、現店主・三須高明さん(73)の父で、玩具問屋を営んでいた康次さんが立ち上げた店だ。

全盛期は、超合金、ルービックキューブ、ミニ四駆など、ヒット商品が続々と誕生した80年代。ファミコンの人気ソフト発売日には開店前から行列ができ、今なお店頭で軽快な電子音を響かせるアーケードゲームには野球帽に半ズボンの少年たちが群がった。

しかし、「おもちゃ屋が何もしなくても売れた時代」はそう長く続かない。巷では大型店や中古買取も行うゲーム専門店が台頭するようになり、キャラクターものや電子玩具など高額の商品も増加。値引きが難しい個人経営の店には、厳しい風が吹きはじめていた。



孫を連れ高年齢男性が店に訪れたのは、そんなある日のこと。「お正月だから、好きなものを買ってあげよう」。大喜びの子どもたちはテレビゲームのコーナーへ一目散。そんな様子を見ともしそうに見

守っていた男性だったが、お勘定になると表情が一変。金額は数万円になっていた。「昔の感覚で、おもちゃは安いものと思っていたのでしょ。なんだか申し訳なくて…」

この出来事を機に、三須さんは商品のラインナップを3000円以内のものを中心に方向転換。子ども達が気楽に利用できる「キッズコンビニ」でありたいと、小銭で買える駄菓子も増やした。そんな「経営努力」の甲斐もあり、世間では次々と小売店が姿を消すなかでも、店には絶えず元気な声が響く。令和へと時代が変わった今も、息を弾ませて駆け込んで来る子どもたちの無邪気な表情は昔のままだ。

かつての「常連客」たちが、「三景のおじちゃん、まだやってたの」と立ち寄ってくれることが喜びのひとつ。「昔はやんちゃ坊主だったのに、立派な大人になっていたりして」。創業時から変わらぬ店の黄色いひさしをくぐれば、皆、自然と笑顔になる。「子どもに夢を売り続けたい」という三須さん。「もうけるのは難しいですけどね」と語る横顔は穏やかだ。



町田市鶴川2-14-12 ☎042-735-1723 営10:30~18:30 月曜日定休

沢野ひとしの

町田絵日記

第1回 町田に住んで50年



自 宅から薬師池公園までの坂道を登り20分。すでにいつも汗が吹き出してくるので、涼しい池の回りのベンチで一休みする。

早いもので、町田に住んで50年が過ぎ去ろうとしている。職場が都内にあった頃は通勤時間に不便を感じていたが、今では駅までのバスの本数も増え、さらに小田急線の快速急行も増大し、都心に出るのもいたって便利になった。

薬師池や七国山周辺付近は、これまで限なく歩いてきた。いつも妻と一緒に無言の行進が果てしなく続く。丘を越え鶴見川の橋を渡り、野津田公園から小野路へと3時間も歩くと、これは散歩ではなく旅になってくる。途中で地元産の野菜が妻の赤いザックに満杯になっているが、旦那は冷淡に無視している。

もう一度薬師池に立ち寄り、奥のハス田に行ってみると、息子夫婦と孫たちが奇声を発してザリガニ捕りに夢中になっている。山猿2匹の孫を見つけた妻は、「いたいた」と両手を広げ喜びを体中で表している。

息子の家はやはりここから20分歩いた距離にあり、休日はこの辺りを散歩している。どこかで重なる。



小学生の男の子と保育園の女の子は妻にとつての宝物で、孫と一緒にいる時は本当に穏やかで幸せそうな顔をしている。

銀も 金も玉も 何せむに
優れる宝 子に しかめやも
妻は万葉集の山上憶良の歌をよく暗唱して、青い空を見つめている。

そういえば七国山緑地から広がる風景は、奈良の明日香村一帯とひどく似ている。遠くの丹沢や奥多摩の峰々を眺めていると、まるで万葉の世界にいる錯覚に陥る。

結婚して都営住宅が偶然に当たり、娘が小学生の時にこの地に引っ越してきたのだが、歳とともに町田に住んでこられたことを感謝している。都市と田舎の天秤がうまく取れた町である。

薬師池の隣の四季彩の杜が初夏にオープンしたが、なんと芝一面のテントを張れる広場もあるのだ。広い空間のレストランでサンドイッチとコーヒーを口にしたが、味にうなづいた。もう一つ町田の自慢話生まれそうだ。

ここに残された緑の公園は、千古不易(永遠に変わらないこと)であって欲しいと願う。

■文・イラスト：沢野ひとし(さわのひとし)

町田市在住のイラストレーター、エッセイスト。高校時代の同級生でもある作家・椎名誠の著書の挿絵を手掛けるほか、著書に「中国銀河鉄道の旅」「人生のことはすべて山に学んだ」などがある。第22回講談社出版文化賞さしえ賞受賞。





まちびとプレゼント

毎度ご愛読ありがとうございます。「まちびと」編集部から、アンケートにお答えいただいた読者の皆様の中から抽選でプレゼントを進呈します。ご記入いただいた感想やご意見はこれからの「まちびと」の編集に役立てます。

1組
2名様



A ベストウェスタン レンブラントホテル東京町田から
天麩羅・しゃぶしゃぶ・会席「中津川」の
天ぷらコース【桜】9,000円コース(税別)

厳選されたこだわりの食材を用いた「上質な天ぷら」は、美味しさと満足度を追求した本格派。随所にちりばめられた江戸の粋を感じさせる空間や雅やかなアクセントによって、ワンランク上の上質な空間の中で、料理長が目利きした旬の素材を楽しめます。

ベストウェスタン レンブラントホテル東京町田
<https://www.bwhotels.jp/machida>

3
名様



B まちだシルク農園から
まちだシルクメロン
(ブロンズ) 4,320円 (税込)

まちだ新農法でつくられたジューシーで濃密な甘さが凝縮。糖度12度以上、重さ1kg以上のメロン。TV「ヒルナンデス」などの情報番組にも取り上げられ、注文が殺到。話題のメロンを味わえます。※商品の発送時期は集荷状況によります。

まちだシルク農園
<http://www.machida-melon.jp>

3組
6名様



C 東京・湯河原温泉 万葉の湯 町田から
日帰りペアご招待券

万葉集に詠まれた湯河原温泉。露天風呂、石風呂、内湯など、さまざまなスタイルで名湯を堪能でき、お食事処では旬の食材をつかった本格和食も味わえます。公式サイトで混雑状況を発信するなど、安心して過ごせるようコロナ対策も万全です。

東京・湯河原温泉 万葉の湯(町田館)
<https://www.manyo.co.jp/machida>

応募方法

①住所②氏名③年齢④希望のプレゼント⑤下記アンケートのお答えをご記入の上、ハガキかメールでまちびと編集部へご応募ください。応募締切：2020年9月30日(水)

アンケート

Q1. 今回の「まちびと」はいかがでしたか。

1. 良かった 2. 普通 3. 良くなかった

Q2. 「まちびと」はどこでご覧になりましたか。

1. 町内会・自治会での回覧 2. 市の公共施設 3. その他()

Q3. 印象に残った記事を教えてください。

1. 特集「創業の夢 叶うまち」 2. まちだ人「秋元陽太選手」 3. 町田市町内会・自治会連合会
4. まちだ地域国際交流協会 5. NPO法人プラナス 6. つるかわ無料塾 結い
7. まちださんぽ 8. てくてく昭和 9. 沢野ひとしの町田絵日記 10. マチ活 information

Q4. 今回の記事で参加やお出かけ等、実際に活用したくなった情報を教えてください。

()

Q5. 今号の「まちびと」への感想やご意見、取り上げて欲しい記事を教えてください。

()

応募先

〒225-0014 横浜市青葉区荏田西 2-1-3
株式会社タウンニュース社 まちびと編集部
eigyoubu@townnews.co.jp

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。ご記入いただいた個人情報は抽選・発送のために利用し、ご応募頂いた読者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ご記入頂いた内容は、編集に役立てるために個人の特長ができないよう資料化する場合がございます。ハガキやメールは当社にて一定期間保管のうえ、作業終了後は当社が責任をもって廃棄します。

マチ活 information

1 稲刈りや味噌づくり、薪割など 親子で里山暮らしを体験しよう

一般社団法人まちやまが、2020年度親子里山暮らし体験「まちやまひろば」を大谷里山農園で定期開催中だ。「里山ベーシックコース」(9月～3月)は、竹筒ご飯炊き、餅つき、薪割などの体験を予定。「本格米&大豆づくりコース」(10月～2月)は、稲刈りや脱穀、豆腐や手前味噌づくりなどを行う。親子2人で各1回6千円(1名追加1千円)。申し込みはホームページ(<http://machi-yama.org>)で受付中。



2 視覚障害者のスマホ教室 ボイスオーバーの操作学

ブラインドITサポート町田が8月21日(金)、視覚障害者のためのスマホ教室「ボイスオーバーを使ってみよう」を町田市民フォーラムで開催する。iPhoneのスクリーンリーダーを5本指のジェスチャーで操作してみる。参加無料。申し込みは☎070-1456-3030、✉info@bismachida.jpへ。

3 クラウドファンディング挑戦中! 「まちのり基金」を開設

町田市地域活動サポートオフィスと町田市社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困っている人を支援する市民活動団体を資金面で支える「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田(略称:まちのり基金)」を立ち上げるため、クラウドファンディングを実施中。寄付の受付は、8月3日～9月16日までFAAVO町田のホームページ(<https://camp-fire.jp/projects/view/305818>)へ。

4 町田演劇鑑賞会が会員募集 年6回の舞台を楽しもう

NPO法人町田演劇鑑賞会が現在、観劇会員を募集している。ミュージカルやコメディ、現代劇、古典劇などを年6回上演する。今年は劇団青年座『砂塵のニケ』(9月4日・5日)、劇団文化座『しゃぼん玉』(11月10日・11日)を予定。問い合わせは☎042-726-9325へ。

5 ひきこもりの若者が困りごと解決 小山地区で「わらしべプロジェクト」

NPO法人ゆどうふは、ひきこもりや生きづらさを抱えている若者らが地域の日常的な困りごとを有償で解決する「わらしべワークプロジェクト」を展開。活動したい

若者、小山エリアで作業依頼をしたい個人、団体を募集している。申し込みはホームページ(<http://yudofu.or.jp>)へ。

6 信州川上郷の町田市自然休暇村 川遊びや星空観察を楽しもう

秩父多摩甲斐国立公園内の町田市自然休暇村は、利用者を受付中だ。千曲川支流での川遊びや森林ハイキング、満天の星空観測、紅葉狩りなど絶好の自然体験の場で、市民であれば本館1泊大人2,610円～で利用可(キャビン・テントもあり)。問い合わせは☎0267-99-2912、<http://www.machidakyukamura.jp>へ。

7 一点物の着物リメイク商品 オンラインショップOPEN

障害福祉サービス事業所クローバーの会は、利用者が着物をリメイクした草履やストールなど一点物商品のオンライン販売を始めた。購入はNPO-CLOVER'S SHOP (<https://cloverorg.stores.jp>)。



町田市

ふるさと納税で 新型コロナウイルス感染症と戦う 医療機関を応援してください!

町田市では、新型コロナウイルス感染症の最前線で戦っている医療機関を支援するため、ふるさと納税の募集を行います。マスク等の医療物資の購入や、医療機器拡充による感染者への対応等、感染拡大防止策の取組を応援します!
財務部財政課 ☎042-724-2149

ふるさと納税の申込み方法

◆ふるさと納税サイト
「ふるさとチョイス」による申込み
(右のQRコードから「ふるさとチョイス」にアクセスしてください)



町田市

道路の陥没、街路灯の球切れ、カーブミラーの破損など 市民通報アプリ「まちピカ町田くん」で教えてください



町田市

スマホを使って楽しむシェアサイクル 「INTERSTREET」サービス開始

どのサイクルステーションでも貸出・返却可能なレンタサイクルです。スマホに専用アプリをインストールして会員登録後、自転車のQRコードを読み取れば利用開始できます。
ecobike(株) ☎070-1304-9832



オープンキャンパスをWEBで体験

OPEN CAMPUS ONLINE

8/23 LIVE配信

学群・分野別ガイダンス
在学生なんでも相談 桜カフェ

4/24~8/31



オンライン入試個別相談

動画公開中

ガイダンス&キャンパス紹介

3つのコンテンツで8月まで開催中(予定)!

http://admissions.obirin.ac.jp/lets_go/opencampus-online/

桜美林のオンライン企画に 今すぐアクセス!

高校生の自分探究を応援するキャリア支援プログラム



ディスカバ!

U17 UNIVERSITY

総合型選抜

学校推薦型選抜

を考えている方に特にオススメです!

オンラインプログラム順次開講

詳細は <https://discova.jp/online/>へ

リベラルアーツ学群 / グローバル・コミュニケーション学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群 / 航空・マネジメント学群 2020年
4月新設

私が変われば、世界が変わる。



桜美林大学

J. F. Oberlin University



桜美林

検索